



ENTRUST



Entrust KeyControl BYOK

主な機能および特長

エンタープライズレベルの拡張性と性能

K C B OKはすべての仮想マシンとデータストアの暗号鍵を管理し、大規模な運用においては、数千もの暗号化ワークロードをサポートできるまでに拡張することができます。つのクラスターに最大 1 つの鍵サーバを追加することができます。

AzureおよびAWSへのBYOK

K C B OKではM A とA のユーザマスター鍵およびA とA のネイティブ鍵に対して、単一の管理コンソールで鍵を一元管理することができます。これはM A およびA で生成したネイティブ鍵のライフサイクル管理を可能にするだけでなく、独自の暗号鍵を生成したい場合は制御、自動化および管理を最大限に行うことができ、自社環境で作成した鍵のM A およびA への持ち込みも可能となります。これには、以下のような多数のメリットがあります。

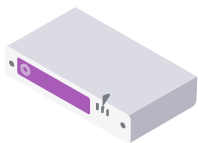
- B O w K (B OK)の安全な鍵生成とM A およびA へのエクスポートの工程を簡素化

H Mを活用し、エントロピーソースから暗号鍵要素を作成

M A およびA 上でのマスター鍵の完全な管理

鍵はK C B OKにバックアップ(復元可能)され、ユーザによる制御を維持

きめ細かな鍵のライフサイクル管理: 期限切れへの対応(無効化、鍵要素の削除)および鍵の交換





Entrust KeyControl BYOK

対応するプラットフォーム

パブリッククラウドプラットフォーム A および
M A

対応するオペレーティングシステム

C O、 H E L、
J E L E、O L、
A L、 W C /
/、 W / /、
W

デプロイメントメディア

O A O A、AMI A、
、I O、HD M
A

技術仕様

MW 認定取得済みKM (.)
. AN A
.)に対応